

第1回 関西大学第一中学校 チャレンジラグビー 開催報告

関西大学第一中学校ラグビー部

顧問 早瀬 剛

関西大学第一中学校ラグビー部では、ラグビーを通じて、障害をもつ人やその方を支援する人に出会い、多様な価値観に触れ、心の成長を図ることを目的とした「関西大学第一中学校チャレンジラグビー」を開催しました。

2008年1月13日（日）。会場は、関西大学千里山キャンパス北広場。ご参加いただいたのは「いくの障害児(者)・家族地域支援センター ほっと」をご利用の約40名の皆さんです。

当日は、関西大学保健管理センター 飯田紀彦所長、関西大学社会学部 飯田紀彦ゼミの大学生の方々、本校ラグビー部保護者会の皆様にもお越しいただき、全面的なサポートをしていただきました。

13:20、本校プレーヤーが学校を出発。阪急「関大前」駅へ参加者を迎えに行きました。

13:40、参加者と対面。参加者1名に本校3年生プレーヤー1名がパートナーとなり、ヘルパーの方や参加者の保護者の方とともに会場へ移動しました。移動中、本校プレーヤーが自己紹介を試みたり、名前を聞いたりしていましたが、なかなかうまく会話をすることができなかつたようです。

14:10、会場に到着。参加者の中には、家から持ってきたラグビージャージに着替えてくれた方がいました。また、人工芝のきれいなグラウンドに喜んでくれたのか、走り回ってくれた方もいました。この頃から、少しずつパートナー同士の会話が弾むようになりました。

14:20、ラグビーの練習開始。参加者1名に本校プレーヤーがさらに1~2名つき、3~4名のチームをつくり、そのチームで練習をしました。練習内容は、本校プレーヤーが事前準備学習で考えたものですが、参加者の様子を見て、当日は臨機応変に練習内容を変えていました。

まず、チームで参加者をサポートしながらランニングをし、一緒にストレッチをしました。電動車椅子の参加者もいましたが、一緒にランニングをしました。

次に、ボールに慣れてもらうことを目的に、チームで円をつくり、ボールを順番にパスしたり高く上げて受け取ったりしました。ボールを触ることもできない参加者もいて、本校プレーヤーはどうやって楽しんでもらおうかと戸惑っていましたが、手渡ししたりして、なんとかボールに触れてもらっていました。また、急にどこかへ走り出す参加者もいて、本校プレーヤーが名前を呼んだりして、なんとかボールに触ってもらおうと努力していました。

その後、チームが横一列に並び、ランニングパス（ランニングしながら横の人にボールをパス）の練習をしました。どうしてもランニングが嫌なようで、グラウンドの端のほうで座り込んでしまった参加者もいました。パートナーの本校3年生プレーヤーは、ヘルパーの方と一緒にボールに触れてもらおうとコミュニケーションをとってみましたが、なかなかうまくはいかなかったようです。

さらに、チームで順番にボールを持って走り、15m先に置いてあるマーカーを回って元の地点に戻ってくる練習をしました。一人で走ることができない参加者には、パートナーである本校プレイヤーが横について、一緒に走りました。その後、各チームが一斉にスタートして、この練習の競争をしました。本校プレイヤーは参加者の名前を呼んで、応援したりサポートしたりしていました。参加者もボールを持って、一生懸命に走ってくれました。最後は、どのチームもゴールすることができました。

15:30、関西大学東体育館の教室へ移動。アフターファンクションを行いました。

本校ラグビー部保護者会に差し入れていただいたジュースをみんなに配布し、本校ラグビー部主将 小林 賢史くんの発声で乾杯をしました。そして、主将 小林 賢史くんと副将 長 知輝くんが本日の感想とご参加いただいた皆様に感謝の気持ちを述べました。その後、参加者代表、「いくの障害児(者)・家族地域支援センター ほっと」代表、飯田紀彦ゼミ所属の学生代表、本校ラグビー部保護者会会長、という順でご挨拶いただき、挨拶したがっていた本校3年生プレイヤーも話をしていました。

16:00、関西大学東体育館前で記念撮影。そして、みんなで阪急「関大前」駅へ向かいました。

16:30、阪急「関大前」駅に到着。チーム内でお互いに握手をして、お別れしました。「今日はありがとう」「また来てな」という声が聞こえてきました。

最後になりましたが、今回の「関西大学第一中学校チャレンジラグビー」を開催するにあたり、昨年11月より3回にわたり事前準備学習を実施していただきました 関西大学社会学部卒業生 体育会ラグビー部 OG 山崎 秀子さん、本当にありがとうございました。また、昨年より打ち合わせ等、いろいろとご協力いただきました 関西大学保健管理センター 飯田 紀彦 所長、「いくの障害児(者)・家族地域支援センター ほっと」書記 文 広恵さん、本当にありがとうございました。

これからも本校ラグビー部では、ラグビーを通じて心の成長を図り、紳士育成を実践していきたいと思っております。今後とも、本校ラグビー部の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2008年1月13日